

○ 小山町

おやま

No. 151

2017/8月1日号

町議会だより

発行：静岡県駿東郡小山町議会

7月2日 駿東支部消防操法大会

消防団の日頃の訓練成果を披露する大会が行われました。小山町からは第5分団（北郷北部）と第7分団（須走）が出場し、小型ポンプ操法の部で第7分団が準優勝に輝きました。



6月定例会

議会の構成が変わりました 2

- ・平成29年度一般会計補正予算(第1号)ほか全議案が可決... 4
- ・5人が一般質問 町政のここが知りたい 8
- ・(仮称)小山町中央子育て支援センターを新設 13
- ・須走地区から「わたしの金太郎」 14

変わりました



議長
米山千晴

3期目 自由民主党(新生会)

この度、議長に選出されましたことは、身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いであります。議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいります。

現在、小山町では、「内陸のフロンティアを拓く取組」等により定住促進や雇用の増加を目指した様々な事業が進められております。しかしながら、地域の活性化、人口減少対策等、取り組むべき重要課題も山積しております。

私たち町議会は、これら喫緊の課題を解決すべく議論を積み重ね、小山町のさらなる発展のために執行機関とともに鋭意努力する所存であります。また、身近で開かれた議会を目指し、議会改革にも取り組み、町民皆様方のご期待に応えられる議会運営を目指してまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



副議長
池谷洋子

4期目 公明党(無党派)

この度、副議長に選出され、その責務の重大さを痛感するとともに決意を新たにいたしております。微力ではございますが、議長のもと町政の発展と町民皆様の生活向上に全力で取り組んでまいります。さらに、女性ならではの視点と信念を持ち、様々な課題に対して誠心誠意努力してまいります。

今、小山町では、少子高齢化や人口減少など、厳しい状況下ではありますが、皆様の力をお借りして、明るく元気なまちづくりを推進していきたいと思っております。

副議長として議長を補佐しながら、また、一議員としても町民の声を大切に受け止め、行政へ反映できるよう努めてまいります。

今後とも、皆様方の温かいご支援をお願いいたします。就任の挨拶とさせていただきます。

議会の構成が



米山 千晴 渡辺 悦郎 遠藤 豪 込山 恒広
梶 繁美 (委員長) 菟田 豊造 (副委員長)

総務建設委員会

総務建設委員会の定員は7名です。
総務建設委員会では、主に総務、企画、税務、上下水道、建設、三来拠点事業、定住促進、農林業、商工業振興、観光などに関することを審議します。

6月定例会初日に、正副議長をはじめ、常任委員会や特別委員会、議会運営委員会などの各委員の改選が行われました。
議長選では「町民に分かりやすい開かれた議会運営」の一環として、立候補制と所信表明演



池谷 洋子 鈴木 豊 佐藤 省三 阿部 司
池谷 弘 (委員長) 高畑 博行 (副委員長)

文教厚生委員会

文教厚生委員会の定員は6名です。
文教厚生委員会では、主に戸籍、医療、介護、健康保険、住環境、健康増進、子育て支援、学校、生涯学習、防災、消防などに関することを審議します。

説導入の動議があり、全会一致での賛成となりました。
議長選には3人が立候補し、それぞれの所信表明演説の後、投票の結果、議長に米山千晴議員、副議長に池谷洋子議員が就任しました。

議会運営委員会

議会を円滑・効率的に運営するため常任委員会とは別に設置されます。

委員長 鈴木 豊
副委員長 渡辺 悦郎
委員 池谷 弘
込山 恒広
梶 繁美
池谷 洋子

御殿場市・小山町広域行政組合議会議員

ごみ処理場・消防署・斎場など御殿場市と広域で行っている事業を審議する議会です。御殿場市議会議員7名、小山町議会議員5名で構成されています。

副議長 高畑 博行
議員 遠藤 豪
鈴木 豊
菟田 豊造
梶 繁美

広報対策特別委員会

年に4回「議会だより」の編集と発行を行います。

委員長 池谷 洋子
副委員長 渡辺 悦郎
委員 鈴木 豊
菟田 豊造
高畑 博行

6月定例会

平成29年第3回6月定例会が6月2日から6月23日までの22日間の会期で開催されました。今定例会では、専決処分の承認4件、平成28年度各予算繰越計算書の報告6件、農業委員会委員の任命の同意1件、御殿場市道路線認定の承諾1件、条例の改正5件、一般会計補正予算（第1号）などが提出されました。

また、最終日には、議会からの核兵器廃絶平和都市宣言の決議を含む合計26議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

平成29年度一般会計補正予算を可決

一般会計補正予算（第1号）

一般会計補正予算は、歳入・歳出それぞれ3億6398万7000円を追加したことにより、予算総額は109億6398万7000円となりました。

歳入の主なもの

地方交付税

100万円増額
集落対策の推進に関して、地域の実情に詳しい

地方創生交付金

819万円増額
スタジオタウン小山の

民生費国庫補助金

428万円増額
北郷小学校放課後児童クラブ建設に対する補助金。

民生費国庫補助金

1714万円増額

民生費国庫補助金

2億130万円増額

人材を集落支援員として委嘱する経費に対する地方交付税。

特別対策事業補助金

760万円増額
結婚・出産・子育ての支援を含め、少子化対策の取組に対しての県補助金。

不動産売却収入

2億130万円増額
医療法人および社会福祉法人へ貸し付けている町有地の売却を見込むもの。

教育費寄附金

195万円増額
一般社団法人綱山五徳会から北郷地区教育振興向上のための寄附。また、株式会社丸善食品工業から小学校の図書購入のための寄附。

基金管理費

8000万円増額
足柄駅周辺整備等を行うために足柄駅周辺整備事業基金へ積立。

定住促進事業費

1627万円増額
地方創生推進交付金を活用して女性活躍推進事業と、ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業の補助金を活用して、子育て世代における賑わいづくりを推進する事業を実施。

放課後児童クラブ施設整備費

4900万円増額
北郷小学校敷地内に放課後児童クラブを建設。

未来拠点事業事業費

3900万円増額
小山パーキングエリア周辺の自然環境調査と新産業集積エリアと上野工業団地を結ぶ南北幹線道路の測量と設計に要する費用。

防衛施設関連整備事業費

6300万円増額
町道上野大御神線の測量設計と物件調査費。

パークゴルフ場管理費

3139万円増額
地方創生拠点整備交付金を活用して、パークゴルフ場の管理・休憩棟を再整備。

都市公園維持管理費

100万円増額
新たに配置する集落支援員に対する謝礼。

幼稚園維持管理費

720万円増額
ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業の補助金を活用して、給食を行っていない須走幼稚園と町内幼稚園の3歳児の給食業務を実施。

歳出の主なもの

平成28年度からの繰越金の増額を見込む。

民生費

3600万円増額
（仮称）小山町中央子育て支援センター建設費の財源として起債。

基金管理費

8000万円増額
足柄駅周辺整備等を行うために足柄駅周辺整備事業基金へ積立。

定住促進事業費

1627万円増額
地方創生推進交付金を活用して女性活躍推進事業と、ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業の補助金を活用して、子育て世代における賑わいづくりを推進する事業を実施。

放課後児童クラブ施設整備費

4900万円増額
北郷小学校敷地内に放課後児童クラブを建設。

未来拠点事業事業費

3900万円増額
小山パーキングエリア周辺の自然環境調査と新産業集積エリアと上野工業団地を結ぶ南北幹線道路の測量と設計に要する費用。

防衛施設関連整備事業費

6300万円増額
町道上野大御神線の測量設計と物件調査費。

パークゴルフ場管理費

3139万円増額
地方創生拠点整備交付金を活用して、パークゴルフ場の管理・休憩棟を再整備。

都市公園維持管理費

100万円増額
新たに配置する集落支援員に対する謝礼。

幼稚園維持管理費

720万円増額
ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業の補助金を活用して、給食を行っていない須走幼稚園と町内幼稚園の3歳児の給食業務を実施。



解体が決まった旧町立体育館（藤由）



観河小山幼稚園の給食の様子

6月定例会 審議案件

条例改正・工事請負契約 ほか 26議案全てを可決

工事請負契約・ 変更契約4件を議決

建設工事の変更請負契約1件と、最終日に金時公園整備工事ほか2件の工事請負契約が追加議案で提出され、全員賛成で全て可決しました。

○町道3866号線舗装補修工事(変更後契約額) **6986万円**



選別1本ケヤキ線の工事区間を延長(須走)

町道3866号線舗装補修工事の変更契約を可決しました。変更の主な内容は、工事区間を延長し、舗装補修工と側溝工を追

加施工して事業の進捗を図ります。

○金時公園整備工事 **1億2744万円**

防衛補助事業補助金と静岡県観光施設整備事業補助金を活用して、金時公園を整備します。この工事では、植栽や舗装、遊具の整備を行います。

○金時公園多世代交流施設等建設工事 **7560万円**

公園内に子どもや親同士、高齢者が集う場所として、多世代交流施設を建設します。また、相撲の土俵を設置します。

○(仮称)小山中中央子育て支援センター整備事業 **7992万円**

子育てをする親同士が気軽に集い、相談ができる場所として(仮称)小山中中央子育て支援センター

を総合文化会館図書館の横に整備します。

町税条例と国民健康保険条例を一部改正(専決処分を承認)

地方税法等の一部を改正する法律が平成29年3月31日に公布されました。

小山町税条例および国民健康保険条例は地方税法に基づいた条例であり、今回の一部改正についても、地方税法と同日であることが望ましいことから、3月31日に専決処分され、4月1日に施行されたことが承認されました。主な改正点は次のとおりです。

小山町税条例

配偶者控除と配偶者特別控除の見直し

平成31年度分の個人住民税から所得控除額33万円の対象となる配偶者の合計所得金額の上限を90万円以下に引き上げるものです。

「わがまち特例」導入 家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業または、事業所内保育事業に係る課税標準の特例措置について

軽減割合を町が条例で定めることができる「わがまち特例」を導入し、平成30年度分以後の年度から適用します。

グリーン化特例導入

自動車の燃費性能に応じて税率を軽減する種別制(グリーン化特例)の見直しについて、適用期限を2年延長し、平成29年4月から平成31年3月までに車両番号の指定を受けた軽自動車に対して特例措置が講じられます。

小山町国民健康保険条例

軽減判定所得の基準を引き上げ、被保険者均等割額および世帯平等割額を軽減する所得判定基準について、被保険者および同一世帯所属者一人につき加算する額を増額します。

※そのほか、「小山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例」について専決処分の報告があり、承認しました。

低所得世帯・多子世帯等の軽減を図るため、利用者の負担の上限額に係る特例措置を拡充するなどの法令改正に伴い、条例の一部を改正しました。

幼稚園保育料徴収条例 保育料条例の一部改正

町立幼稚園保育料では、生活保護世帯、要保護者等のいる世帯、町民税非課税世帯を加えて、それぞれの幼稚園保育料をゼロ円とします。また、保育料においても、第3階層から第5階層の各層に要保護者等のいる世帯を加えて保育料を6割から8割程度減額します。

私立保育園の保育料では第2階層はゼロ円、第3階層は2000円の保育料を設定しています。

平成28年度各会計繰越計算書の報告

一般会計予算

平成28年度から今年度に繰越をした各会計予算について繰越計算書の報告がありました。繰越の主な事業は次のとおり。

・道の駅ふじおやま増設敷地取得(繰越明許費)
・スタジオタウン小山映像文化拠点整備事業(繰越明許費)ほか
・特別会計予算(3会計)
・優良田圃住宅整備事業(繰越明許費)ほか

小山町農業委員会委員の任命を同意

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員の選出方法が、従来の公選制から、議会の同意を得て町長が任命する町長任命制に変わりました。

また、農業委員のほかに、現場活動を行う農地利用最適化推進委員が新設されました。本定例会で、農業委員11名、農地利用最適化推進委員9名の任命について全員賛成で同意しました。

常任委員会 報告

総務建設委員会

委員長 梶 繁美

総務建設委員会に付託された4議案について6月14日に審議を行い、原案のとおり全員賛成で可決しました。主な内容は次のとおり。

一般倉庫補正予算(第1号)

Q (仮称)小山町中央子育て支援センター建設の事業費は、償還期間を何年間で計画しているのか。

A 15年を予定しています。

Q 町有地売却収入について、医療法人と賃貸借契約を結んでいる土地を売り払うとのことだが、相手との合意形成はどれくらいか。

A 現在、医療法人と町とで交わした賃貸借契約の条項に基づいて協議を進めています。

Q 医療法人を優先に、話を進めっていると理解し

ています。3年後には、女性が様々なことを運営したり、活動したりする場を作ることによって活躍できることを目指します。

Q 女性活躍促進事業が定住促進とどのようにつながっていくのか。

A 小山町の人口で一番流出している世代層は、若い女性の世代です。子育てをしている母親が活躍している姿を見せることで、若い女性の流出を防ぎます。また、結婚や子育てをしている女性に小山町をアピールして、町に来てもらうことも計画しています。様々な事業を実施して、定住促進につなげていきます。

Q 定住促進事業費の女性活躍促進事業とは具体的にどのような事業を行うのか。

A 地方創生推進交付金を活用した事業です。子育て世代の女性を対象に女性のネットワークを作り、趣味や特技、スキルを生かしながら活動してもらおうことを計画しています。

Q 事業は複数年にかけて行われるのか。

A 地域再生計画を策定して、3年間で事業を実施

でも減額をしていますが、本事業は継続していくことが必要であることから、昨年に実施した事業の規模を縮小して、今年も引き続き、コンテスト等を実施していきたいと考えています。

Q 都市公園維持管理費について集落支援員制度の内容は。

A 総務省が創設した特別交付税の対象となる事業です。集落支援員を活用しながら、地域にある課題等を見つけ出し、行政・支援員・地域の三者が一体となって解決に向けて動いていきます。

Q 旧町立体育館解体工事費が計上されているが、体育館中の状況は把握しているか。

A 旧町立体育館は、ロケスタジオとして使用していました。ロケの備品や消耗品等がまだ保管されています。

Q 御殿場市との協議は全て済んでいるのか。

A 御殿場市から4月に御殿場市道路線認定の承

6月定例会で、各常任委員会に付託された議案に対する質疑応答を報告します。

Q 解体後の跡地利用の計画はあるのか。

A 解体後の跡地利用については決まっています。近隣住民の方と十分な話し合いの場を設けて、跡地利用について検討してまいります。



解体となる旧町立体育館の現場を視察

小山町区域内に予定している御殿場市道路線認定の承諾について



町内を通る御殿場市道予定地を確認

小山町議会だより No.151 平成29年8月1日発行

小山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

Q 現在、保育士等の不足が問題となっているが、職員が休業している間は、正規職員で補充されているのか。

A 保育士や幼稚園教諭、そして一般職員が育児休業を取得する際には、期間や職務に応じて、臨時職員または正規職員を充てて補うようにしています。

文教厚生委員会

委員長 池谷 弘

文教厚生委員会に付託された4議案について6月15日に審議を行い、原案のとおり全員賛成で可決しました。主な内容は次のとおり。

一般倉庫補正予算(第1号)

Q 北郷小学校放課後児童クラブは、この場所に建設するのか。また、どの程度の規模を計画しているのか。

A 小学校グラウンド内の北郷支所およびバス停寄りに配置します。

また、外構のフェンスを一部切り、バス停側から出入り用の階段を設けます。バス停付近駐車場に車を停めて迎えに来てもらうことを考えています。

現在、北郷小学校放課後児童クラブには42人が入っていますが、今回の計画は60人程度を収容できる規模とし、165平方メートルを計画しています。

Q パークゴルフ場の事務所・休憩所等の建築計画



放課後児童クラブ建設予定地を視察

画の概要は。

A 休憩所、トイレ、受付の建物が建っている箇所に建設を計画しています。面積はテラス等を含めて100平方メートル程度となります。部屋には事務室、休憩室、トイレ、地場産品売り場や調理室を設ける予定です。

Q パークゴルフ場に設置する地場産品売り場の

運営方法は。

A 現在、パークゴルフ場の管理を吉野会に委託していることから、吉野会の協力を得ながら、家庭で栽培している野菜などの販売を考えています。



パークゴルフ場の現場説明を受ける

Q 母子保健事業費の不妊・不育治療費助成について、助成回数は1年度につき1回とし、通算5回までとしているが、連続5年が条件か。

A 助成は5回を限度としていますが、人により様々な症状があり、治療の周期等も異なるため、必ずしも、連続して5年とはしていません。

小山町立幼稚園保育料徴収条例および小山町保育料条例の一部を改正する条例について

Q 条例改正により減額の対象となる生活保護世帯や要保護者等のいる世帯の人数と金額は。

A 幼稚園保育料の対者は3人です。1か月当たり1万8300円で、年間21万9600円の減額となります。保育料の対象者は11人で、月額10万1750円です。年間122万1000円の減額を見込んでいます。

決議第1号

「核兵器廃絶平和都市」を宣言しました

定例会最終日に「核兵器廃絶平和都市宣言」に関する決議の発議がされました。今回の決議理由は、県内の市町と同様に本町でも核兵器による戦争などの脅威をなくし、世界の恒久平和を求めて宣言するものです。議会運営委員会により提出され、全議員の賛成を得て、本決議案は次のとおり議決されました。



御殿場市の平和都市宣言のモニュメント

決議文

決議第1号

小山町核兵器廃絶平和都市宣言に関する決議

富士山頂のあるまち小山町は、水と緑に恵まれ、歴史と文化が息づくまちとして育んできました。この美しく自然豊かなふるさとを次の世代に引き継ぐことは、私たち町民の使命である。

しかしながら、現在、地球上では核実験や武力紛争が繰り返されるなど世界の平和に大きな脅威をもたらしている。

私たちは、世界で唯一の被爆国の国民として、すべての核兵器の廃絶と戦争やテロリズムのない平和な世界の実現を強く望むものである。

よって、小山町議会は、金太郎のように健康で明るいまちをめざすとともに、世界の恒久平和に貢献することを誓い、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言する。

以上、決議する。

平成29年6月23日
静岡県駿東郡小山町議会

一般質問に5人が登壇 町政のここが知りたい



池谷 洋子



さいたま市の祖父母手帳では「子育ての昔と今」を紹介
(出展元:さいたま市 子育て支援政策課)

一般質問 (一括)

Q 孫育てに役立つ「祖父母手帳」を配布しては
A 子育て・孫育てに役立つ情報パンフレットを作成します

母子手帳、父子手帳があるなら祖父母手帳もあって良いと思う。先進地のさいたま市では、同手帳を共働き夫婦に代わり、祖父母が育児を担うことや三世代で同居する家族、近隣地域に住んでいて息子や娘夫婦などの育児を手伝う祖父母たちに配布している。

現在の孫育てに関する世代間のギャップやトラブルなど、精神的な不安を抱く祖父母が増加していると聞く。そんな不安や心配を解消するためにも、孫育てに役立つ情報提供が詰まった祖父母手帳を配布してはどうかだろうか。

◎ 教育長
子どもは地域の宝であることから、子育ては地域総がかりで行っていくものです。

両親、祖父母および地域の方々に、本町の子育てに関する施策や情報などを知ってもらい、家庭および地域全体で小山町の子どもたちを育てていければと考えています。

Q 「不燃ごみ用指定袋」にさらに小さな容量の導入を
A 協議レベルを副町長・副市長に上げて継続します

この質問は1年前にも取り上げた。今も多くの町民から、「一番小さな20ℓの袋でも大きすぎる。」「割れ物を長期間家庭に置くことは危険だが、その都度捨てるのはごみ袋がもつたいない。」との声を聞く。

◎ 副町長
小山町、御殿場市、広域行政組合の三者協議の場に諮り、早急に結論を出せるようにしていきたいとのことであった。町民の現場の声を大切に再度伺う。

◎ 町長
昨年の議会定例会以降の経過は、昨年6月に小山町、御殿場市、広域行政組合の三者による定例打ち合わせにおいて、町から10ℓサイズの不燃袋の追加を提案しました。その後、3回協議を重ねましたが、現時点で結論は出ていません。町と市とはごみの排出方法の統一について合意し、組合がごみ袋を作成・販売することとしています。引き続き協議を継続しますが、レベルを上げて副町長・副市長とで協議を進めていきたいと思っております。

※そのほか、「書籍消毒機を図書館へ設置」について質問しました。

一般質問
(一括)



鈴木 豊
(新生会)



町営住宅の多くが築40年以上経過
(写真: 湯船団地 築後60年となり用途廃止の計画)

現在、町が管理する団地は14団地である。町内の町営住宅を全て見てきた。多くの町営住宅は、壁など外見から見ても老朽化が著しい。

町営住宅の管理戸数は全部で450戸あり、築40年以上経過した住宅は全体の約7割。また、30年以上経過した住宅となると、ほぼ全てである。

町営住宅の管理戸数は、14団地、450戸でその多くは老朽化した住宅となっており、用途廃止する住宅と存続させていく住宅とに区別し、管理して



新しく木造の町営住宅2棟を建設中(南藤由)
9 小山町議会だより No.151 平成29年8月1日発行

Q 町営住宅の将来ビジョンについて

A 暮らしやすい新たな町営住宅の整備を検討します

保護者の就労といった家庭環境に関わらず、同じ年齢の子どもは、同じ内容の教育や保育を受けられることが望ましい。

今後、幼稚園と保育園の一元化への取り組みについて、具体的にはどのように設置を進めていくのか教育長の見解を伺う。

全国的な動向は、平成28年4月1日現在、全国に4001箇所、うち静岡県には147箇所設置されています。前年度と比べると、全国では1165箇所、県内では27箇所



町立のこども園はきたこうこども園の1施設のみ
増えています。

Q 幼保一元化へ向けた本町の取り組みについて

A 各地域の状況等に応じ、こども園設置を検討します

また、幼稚園の在園者が平成26年では203人だったが、今年は149人と大幅に減少している。

また、全国的な動向はどうか。

また、全国的な動向は、平成28年4月1日現在、全国に4001箇所、うち静岡県には147箇所設置されています。前年度と比べると、全国では1165箇所、県内では27箇所

また、全国的な動向は、平成28年4月1日現在、全国に4001箇所、うち静岡県には147箇所設置されています。前年度と比べると、全国では1165箇所、県内では27箇所

一般質問
(一問一答)



高畑 博行

■町立保育園の概要 (平成29年5月1日現在)

| 園名 | 組数 | 園児数 | | | 職員数 | | |
|-----------|----|-----|-----|-----|-----------|-----|----|
| | | 男 | 女 | 計 | 保育士 教諭 | その他 | 計 |
| いさど保育園 | 6 | 25 | 27 | 52 | 11 | 2 | 13 |
| すがぬま保育園 | 6 | 43 | 34 | 77 | 12 | 2 | 14 |
| すばしり保育園 | 6 | 40 | 38 | 78 | 17 | 3 | 20 |
| きたごうこども園 | 10 | 110 | 87 | 197 | 34 | 7 | 41 |
| 私立菜の花こども園 | 5 | 35 | 33 | 68 | 23 | 5 | 28 |
| 合計 | 28 | 218 | 186 | 404 | 74 | 14 | 88 |

待機児童数:きたごうこども園9人 菜の花こども園5人 すがぬま保育園1人

※私立菜の花こども園は、合計数から除く

早期の待機児童解消が望まれる

Q ふるさと納税に関する本町の考え方は
A 本来の趣旨に沿って進めていきます

今年も総務省は4月1日にふるさと納税に関する要請を各自治体に行った。本町にとっては厳しい内容だ。そこで、それにどう対応するのか質問する。

町長戦略課長

現在の返礼割合は送料を含めて4割程度です。今後は返礼品を出品している企業等と調整し、3割以下となるようにします。

Q 返礼品の返礼割合を3割以下にせよとの総務省の要請だが、どうするのか。

商品券や家電などは避けろとしているが、品揃えの見直しをするのか。

町長戦略課長

町内産業の活性化と町

の財源確保を目的に始めたものである。今までもおり継続して実施していきたく考えています。

Q 問題のある自治体には直接指導することだが、本町は直接指導されたのか。

5月24日付で、総務省自治税務局市町村税課長から小山町長に対し、地

方自治法の規定による「技術的な助言」に基づき、見直しの要請がありました。

Q 小山町民への返礼品送付は取りやめる考えはあるか。

ふるさと納税の趣旨を踏まえ、実施要綱を改正し、速やかに取りやめます。

Q 保育・教育・子育て支援の充実に向けて
A (仮称)小山町中央子育て支援センターを整備します

最近、保育・教育・子育て支援に関する話題や問題を多く目にする。

Q 4月1日時点で小山町は待機児童が1歳児で15人いるという。保育士の確保ができなかったためのようなが、その詳細を伺う。

教育長

待機の内訳は、きたごうこども園(長時間)希

望が9人、菜の花こども園(長時間)希望が5人、すがぬま保育園希望が1人です。

Q 小中学校教諭の過労死ラインを超えた勤務実態が問題になっている。町内の先生方の実態はどうか。

教育長

平成28年度、月平均の時間外勤務80時間超えは、

小学校では該当なし、中学校は半数近くの教員が該当し、全国の実態とほぼ同じ状況です。

Q 今年採用した町採用の講師の働き方は。

教育長

先生方の負担軽減、子どもと向き合う時間の確保のため、担任の先生と合同で児童・生徒の学習状況に応じた少人数での

授業と事務支援や保護者対応を行っています。

(仮称)小山町中央子育て支援センターの業務内容の構想を伺う。

教育次長

親同士が集い交流する場や、子育てに関する相談業務等を行います。また、飲食できる休憩スペースを設け、利用者のくつろぎの場を提供していきます。

一般質問
(一括)



佐藤 省三
(おやまの会)

| | 放課後児童クラブ (厚生労働省) | 放課後子ども教室 (文部科学省) |
|-------|---|--|
| 趣 旨 | 共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後に適切な遊びの場や生活の場を与えて、その健全な育成を図る。 | すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する取組を推進。 |
| 実施箇所数 | (平成26年度) 22,084箇所 | (平成25年度) 10,376箇所 |
| 実施場所 | (平成26年5月) 小学校/53%(余剰教室28%、専用施設5%) 児童館/12%、その他(専用施設、公民館等)35% | (平成25年度) 小学校/71%、公民館/13%、児童館/3% その他(中学校、特別支援学校など)13% |
| 開設日数 | 原則として長期休業を含む年間250日以上 | (平成25年度平均) 111日 |
| 指導者 | 放課後児童支援員等(選任) [法令基準に基づく資格要件あり] | 地域の協力者等 [資格を問わないボランティアにより実施] |

放課後児童クラブと放課後子ども教室の事業の比較
(出展元:厚生労働省・文部科学省)

Q 放課後児童クラブ未設置校について今後の展開は
A 30年度以降に明倫・足柄に開設を予定しています

教育委員会では、今年度から部長制から次長制へと変わった。子どもたちの生活や学力向上のために引き続き努力をし、取り組まれることを期待して、次のことを伺う。

Q 放課後子ども教室を展開する予定は。
A 教育次長

放課後児童クラブは、児童福祉法に基づき、昼間、留守家庭の児童に対し、学校とは別の場所での適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図るものであり、放課後子ども教室は、文部科学省が創設し、学校等を

活用、放課後に学習の復習などをします。平成30年度以降に明倫小学校と足柄小学校への開設を予定しています。

業を進めており、本年度はさらに検定補助の対象の拡大、また、全中学校に英語の授業を補助するALT(外国語指導助手)を派遣しているほか、社会人の非常勤講師を任用するなどして英会話学習を推進しています。

Q 放課後児童クラブと子ども教室との違いは。
A 未設置である足柄小学校と明倫小学校にも

生徒の英語力向上を図るため、英語検定補助事

Q 中学生の英語力の向上について、どのような方策を進めるか。
A 教育長

等を取り入れて指導し、鉄棒遊びなど、握力のつく遊具を使用した運動等を推奨していきたいと考えています。また、反復横跳び、立ち幅跳び、50m走など瞬発力、敏しょう性、腹筋の弱さは、それぞれ各学校での体育の授業や生活を通して、力をつけていきたいと考えま

Q 町内の子どもの体力の現状とその対策について
A 学校の体育や生活を通して、力をつけていきます

昨年末に全国小中学校体力測定結果が文部科学省から発表された。この結果によると、本町の子どもたちが、他市町と比較して良い種目の多かった学年は、小学校4年の男女、中学校2年の男女、中学校3年の女子だった。反対に、小学校5年の女子、小学校6年の男子と小学校1年男子、中学校1年の男子は悪い結果と

なった。(※学年は28年度の学年)
平均を上回った種目は、中学校の握力、小・中学校の上体起こし、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ、小学校のシャトルランだった。反対に下回った種目は、小学校の握力、長座体前屈だった。

Q この結果について、

総じて良い結果が出せたのは、小中学校における授業、小学校における朝運動や中学校の部活動など、学校での日々の体力づくりの成果だと考えています。結果が低かった握力や長座体前屈は、柔軟性を高める体づくり

Q この結果について、

柔軟性を高める体づくり

柔軟性を高める体づくり

子育てに優しいまちづくりの施策として、町では、子育てをする親同士が気軽に集い、交流・相談できる場所を提供し、安心して子どもを育てる環境を創出するために、「(仮称)小山町中央子育て支援センター」を総合文化会館敷地内、図書館横に来年2月オープンを目指して整備します。

(仮称) 小山町中央子育て支援センターが 新設されます

※芝生やゴムチップを張り、子どもが外でも遊べる広場となる。(図はプロポーザル提案時のもの)
構造：鉄骨造一部木造
平屋建
面積：248㎡(床面積)
事業費：79,920千円

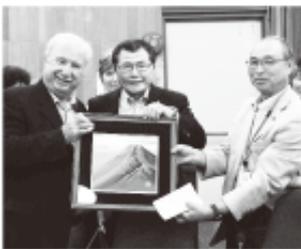


床材などの構造・素材にも配慮してまだ多くない子どもにも優しい空間

Q 子育て支援センターで実施する内容は、
A 支援センターには、子育て支援員を2名、相談員を1名常駐で配置する予定です。また、計画中ですが、ボランティアを養成して、親学の勉強や子育ての相談ができるシステムを整えたいと考えています。
Q カフェスペースを利用する親子にとっては居心地が良い場所になると思う。カフェの運営方法は、
A セルフ形式を考えています。カフェは外からの出入りも可能ですので、図書館利用者にも気軽に利用していただきたいと考えています。

参加して ミッシェン市親善訪問に

小山町とカナダ・ミッシェン市とが国際姉妹都市を提携してから20年が経ち、これまでに町民や議員、学生などがホームステイなどを通じて国際交流を重ねてきました。今回の訪問は、カナダの建国150周年とミッシェン市制125周年を祝して、親善訪問団に町議会から池谷弘議員と鈴木豊議員の2名が同行しました。



記念品を受け取り喜ぶハウズ市長兼議長



金太郎鮎はカナダの子どもにも人気

7月1日はカナダの建国記念日(カナダデー)と市制記念日にあたり、市内では国旗掲揚式やケーキカット式などの各種イベントが催されました。記念式典には子どもからお年寄りまで大勢の市民が集まり、盛大に開催されました。小山町も特設ブースを立ち上げて、パンフレットや金太郎鮎、手ぬぐいなどを配りました。日本からのお土産はミッシェン市民に大変好評でした。

高校生 議会を 開催します

10/22◎

昨年引き続き、高校生議会を当局と小山高校と合同で開催します。高校生に自身の夢や希望を織り交ぜながら質問をしてもらうことで、町政に対して関心を抱いてもらうのと同時に、小山町の将来を担う世代からの意見をまちづくりの参考にします。



堂々と一般質問をする高校生議員(昨年度)

わたしの金太郎

町内で小山町を金太郎のように元気な町にするために頑張っている団体・人を議員自ら訪ねてお話を伺います。



高校から始めた競歩で国内や国際大会にも出場し、数々の賞を獲得するなど、現在は東洋大学に在学し、2020年東京オリンピックを目指している若者の一人、須走出身の川野将虎さんにお話を伺いました。

競歩を始めたきっかけは？

高校に進学した時に陸上部に所属して、長距離ランナーを目指していましたが、監督からの薦めがあり何となく競歩を始めました。始めてみると結構楽しめる競技だと思えました。

出場した主な大会は？

国体、高校総体、U-20世界選手権、アジアユース陸上競技選手権があります。また、国内各地で開

2020年東京オリンピックに出場することは？

自分にとっての活躍は素晴らしいものがあります。それは、日々鍛錬することで強くなれるのですが、町内にはその鍛錬する場所が多くありません。素晴らしい環境でトレーニングができることで、大学や社会人の合宿も増えると思います。「金太郎のよう」に、強く逞しい人材を育てるために施設の充実を願っています。

小山町出身の先輩アスリートは？

小山町出身の先輩アスリートは、日々鍛錬することで強くなれるのですが、町内にはその鍛錬する場所が多くありません。素晴らしい環境でトレーニングができることで、大学や社会人の合宿も増えると思います。「金太郎のよう」に、強く逞しい人材を育てるために施設の充実を願っています。

一番記憶に残っている大会は？

平成29年2月に神戸で開催された第28回アジア選抜大会で優勝したこと。高校生として最後の大会で、学校、指導してくれた監督、一緒に頑張ってきた部員とともに勝利を祝いました。高校生活を有終の美で終われたことに感謝しています。

練習や大会で気づいていることは？

まずは、自身の体調管理です。次に食事にも気を付けます。特に海外では食事面での調整が重要

になります。ずばり目標は？ 2020年東京オリンピックに出場することで。そのためには今から自分の合った計画を立て日々の努力で克服することだと考えています。町に期待することは？ 小山町出身の先輩アスリートの活躍は素晴らしいものがあります。それは、日々鍛錬することで強くなれるのですが、町内にはその鍛錬する場所が多くありません。素晴らしい環境でトレーニングができることで、大学や社会人の合宿も増えると思います。「金太郎のよう」に、強く逞しい人材を育てるために施設の充実を願っています。

（聞き手 渡辺 悦郎）

9月定例会の開催予定

9月定例会では、主に平成28年度決算について審議し、町の予算執行を確認する重要な議会です。是非、傍聴にお越し下さい。

- 8月30日（水）町長提案説明（決算等）
 - 8月31日（木）補足説明（決算）
 - 9月6日（水）決算質疑
 - 9月8日（金）一般質問
 - 9月13日（水）総務建設委員会
 - 9月14日（木）文教厚生委員会
 - 9月25日（月）委員長報告・討論・採決等
- いずれも、開会時間は10時を予定しています。開会日・開催時間は決定次第、無線放送でお知らせします。

議会を傍聴してみませんか

●本会議は、会議の当日役場4階議場傍聴席入口で、住所、氏名、年齢を書いたから傍聴できます。定員は29人です。

●常任委員会は、委員会の当日、開始30分前から15分前までに、役場4階会議室入口で、住所、氏名等を書いてから傍聴できます。定員は6人です。定員を超えたときは、抽選となります。

会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。

詳しく知りたい方は、図書館やホームページでも会議録が閲覧できます。議会だよりは、町のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.fuji-oyama.jp>

編集後記

6月定例会で新たに5名の議会広報編集委員が選任されました。今後も住民の皆様と直結した親しみやすい議会だよりを発行してまいります。議会におきましても、さらなる見える化を目指して頑張ってまいります。

また、町民皆様に町政に関心を持っていただくことは大変に意義あることと思えます。議会では、本会議や常任委員会が自由に傍聴いただけず、町政運営や議会活動の様子を知っていただける絶好の機会ですので、是非お越しください。

結びに暑さ厳しい日が続いています。皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

（記）池谷 洋子

- （編集委員）
- 委員長 池谷洋子
 - 副委員長 渡辺悦郎
 - 委員 鈴木 豊
 - 委員 藤田豊造
 - 委員 高畑博行

